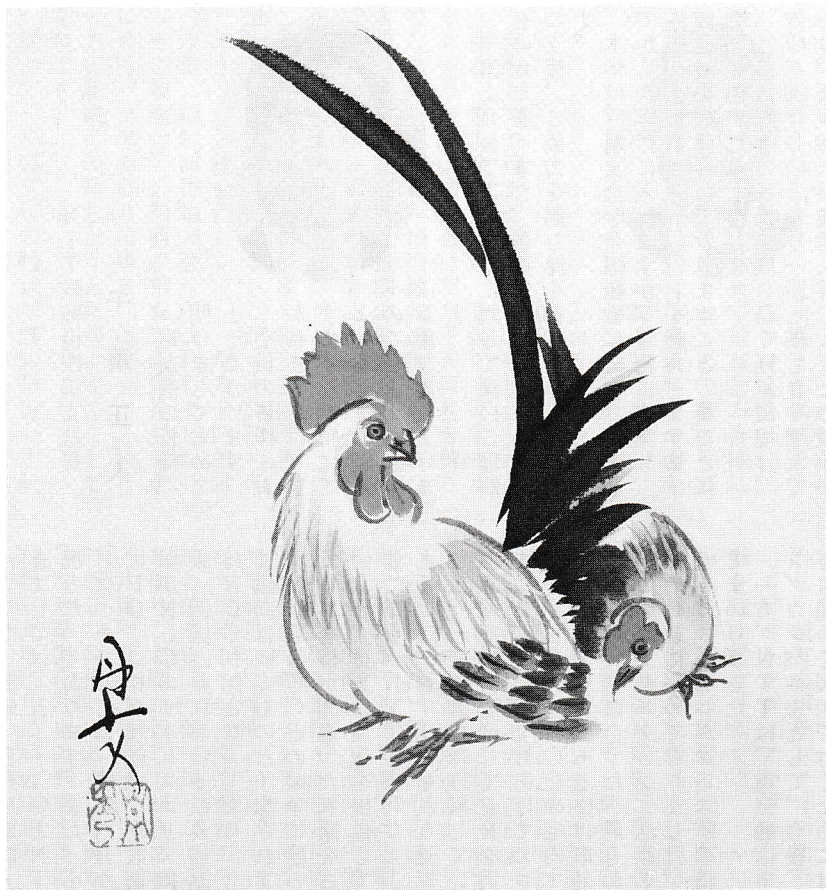


四国電友会会報

第 81 号

5 年 1 月



目 次

年頭に於たって（NTT取締役四国支社長）	二
年頭ごあいさつ（電友会四国地方本部長）	三
NTT日より	四
NTTのCS活動	四
九月中間決算は減収・減益	四
社員のボランティア活動を支援	四
お知らせ	四
テルウェルだより	五
敬 弔	六
俳 句	六
NEWS	七
余 栄	七
私は今	七
随 想	十
井上 政夫 兼松 政人	
猪谷 嘉夫 高井 弘二	
表紙の言葉	十二
題 字	十二

年頭にあたって

NTT取締役四国支社長

千葉 正 人



電友会の皆様、明けましておめでとうございます。会員の皆様におかれましては、ますますご健勝にてよいお年をお迎えのことと、心よりお慶び申し上げます。

平素よりNTTの事業に対して深いご理解をいただき、また、各種施策の実施にあたりご支援、ご協力を賜り厚く御礼を申し上げます。

本年は、電友会が全国組織に統一されましてから四年目に入りますが、年毎に充実し、四国の会員数も三五〇〇名を超え、ますます御発展を続けられておりますこと、まことに御同慶のいたりと存じます。

さて、昨今の我社を取り巻く経営環境は、皆様も御存じのとおり一段と厳しさを増しており、新規参入事業者（NCC）との競争が激化する中で、幾たびかの料金値下げを断行し、民営化の効果をお客様に還元してまいりましたが、一方、平成四年度の中間決算では、対前年度同期比で初めて減収減益となりました。

新年度を迎えるにあたり、最大の経営課題は、このNCCとの競争に勝ち抜くための経営基盤の強化であると考えております。現在、

四国におけるNCCのシェアは、ポケットベルで三七・五％、自動車電話・携帯電話におきましては、五二・二％とNTTを上回る状況となっております。また、市外通話サービスにつきましては、昨年八月から高知・丸亀にPOI（相互接続点）が設置され、四国全域がNCCのサービスエリアになり、この結果、四国四県における県外通話の二五・六％はNCC利用となっており、今後ともその増加傾向は続くものと予想されます。

これらNCCとの競争に勝ち抜くためには、まずお客様が間違った判断をされることのないよう、正しい情報を提供して行くことが肝要であり、NTTが有利な九〇秒以内の通話あるいは、NTTが有利な通話地域等については、十分お客様に理解していただけるようあらゆる機会を通じてPRを実施してまいりました。また、全社あげてのローラ作戦を展開し、LCR（NCCの宅内アダプター）の設定時間の変更、あるいは取外しなど、お客様の利用実態に合った、最もお得な方法についてのコンサルティング活動を推進し、お客様の奪還に努めて参りました。料金割引の新サービス「テレジョーズ」の積極販売も図ってまいりました。

一方、NTTは、電気通信事業のリーディングカンパニーとして、今後、NCCとの公正な競争を図って行くためには、コストに見合った料金体系の見直しなど、競争の枠組み整備が必要と考えております。そのためには、一方で更に経営改善の実績を積み重ね、お客様のコンセンサスを得ることも極めて重要であります。そして、料金値下げ競争の先に待っているのは、サービスそのものの競争と考えております。

現在、NTTでは、「お客様満足度向上活

動（通称・TOPICS）」を実施しております。これはお客様から、ご意見・ご要望をお聞きして、サービスの一層の充実・向上を図り、ひいてはNTTに対する信頼・満足を一段と強めていただくとうとするものです。また、より便利で快適な新サービスの開発・導入にも努め、「ベストサービスの光る四国」を目指してまいりたいと考えております。

経営基盤の強化の面では、増収施策も重要な柱であり、昨年も「NTTサンクスフェア」の開催等、通信機器やシステム商品の販売に努めてまいりました。その際、諸先輩の皆様にも販売情報の提供等ご協力をお願いし、たいへんお世話になりました。

NTTに与えられた課題としては、この他、多彩なサービスの提供に向けた基盤設備の早期構築と信頼性の向上、及び経営の効率化とグループ経営の推進等、多くのものがあり、昨年七月の移動体事業の分社化、十二月の電力・建築・ビル管理事業の分社化など、課題の消化にひとつひとつ取り組んでいるところであります。

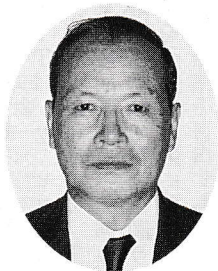
まさに、新年度は、我社にとりまして試練の年であり、社員一人ひとりが知恵を出し合い、「増収」・「節減」・「ベストサービス」を推進し、お客様に信頼され、更に発展するNTT四国を目指して邁進してまいりますので、今後とも、先輩の皆様方には地域社会とNTTとの力強い接点になっていただき、電気通信事業の発展のため、ご指導、ご支援を賜りますようお願いする次第でございます。

最後になりましたが、皆様方にはスポーツや趣味を通じて若々しい日々を送られ、ますますご健康で多幸であられますよう、また、電友会のご繁栄を心からお祈り申し上げ、年頭のご挨拶といたします。

年頭ごあいさつ

電友会四国地方本部長

六 車 美 一



平成五年の新年を迎えおめでとうございます。

電友会の皆様には、どの様にしてこの新年をお迎えでしょうか。

この年が皆様にとって、仕合わせな年でありますよう

う念願してやみません。

現在、電友会会員数は、全国で八万名をこぞえ、うち四国電友会は、三千五百名を擁しております。毎年相当数の増加をみております。四国電友会は、皆様の御協力のおかげで順調に推移しており、まことに慶賀にたえません。

わが四国電友会は、従来「電友会四国連合会」という名称でありましたが、平成四年四月二十三日の総会において、「電友会四国地方本部（略称四国電友会）」と改称しました。

その理由は、二年前の平成二年四月一日を以って、全国のOB組織を「電友会」という一本の組織に改組したことに伴ったこととあります。

従って、平成二年の時点で既に全国一本組織となっていたのでありますが、過渡的に旧名称を残していたのを、昨年の総会において、

事実と名称を一致させるべく提案し、賛同を得た次第であります。今後なおいっそうの御協力をお願い致します。

われわれは、この高齢化社会にどう対処すべきか、福祉はどうあるべきか、環境問題への対応はどうするのか等の課題に直面しています。

電友会はこのことをふまえて、平成三年度から「電友会ボランティア活動賞」を設けて、ボランティアの奨励並びに優績者の表彰を続けております。

本表彰制度の趣旨は、電友会会員の中で、個人あるいはグループとして、日常、地域振興活動、社会福祉活動、環境保護・美化活動、文化活動等において、地域に在って永年にわたる方が少なくないことから、この貴重な活動を顕彰し、またそのことによって、会員の中にボランティアへの関心、参加を促すことを念願してのこととあります。

四国からは、第一回の平成三年度に一団体と一個人が、そして第二回の昨年は、平成四年一月二四日に一団体と一個人が、電友会会長（武田輝雄氏）から表彰されております。

会員各位のボランティアについての御関心を期待致しますとともに、今後右の趣旨にかなった個人または団体をお知りの方は、電友会の事務局へ御一報くださるよう、この場を借りてお願い致しておきます。

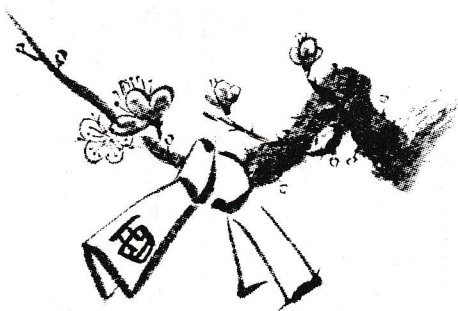
共済年金の改善要望については、友誼団体と呼応して陳情しており、今後も継続致します。なお高齢化社会の到来を見越して、政府は、昭和五十九年二月の閣議決定の「公的年金制度の改革について」の中の一項目である「公的年金の一元化を平成七年を目途に完了する」

という件に沿って、いま盛に検討が行なわれているようでありまして、われわれの共済年金を不利なからしめるよう、強い関心と対応が関係者によって進められつつあります。

われわれ会員の中には、御自分の地域社会において広い顔を持っているとか、地域情報に沢山入手できるなど、有力者が少なくありません。

そういう方のノウハウが、N T Tにとって是有力な味方になると思います。何からでもよろしいですから、N T Tに協力をして上げて頂きたいと思ひます。

終りにあたり、会員各位の御健勝と御多幸を、また療養中の方々には、一日も早く御回復されますようお祈り致しつつ、新年のごあいさつと致します。



NTTだより

NTTのCS活動

お客さまの声から学ぶ

NTTでは、平成三年の一月から、お客さまの声を積極的に掘り起こして、これをもとにアクションをとる「TOPICS」活動を始めている。

これは、注文受付時の対応、それに伴う工事実施時の様子などについて、注文したお客さまに、アフターケアの意味も込めながら電話で、事後に満足度を尋ねる仕組みのものである。

葉書などで、この種の調査をよく見かけるが、電話で、原則全数調査するというのは、画期的なことといえる。

これに年間三百万件のサンプル調査を実施している電報、一〇四、電話帳、公衆電話などを合わせると、年間に一千万件を超える膨大なお客さまの声が集まり、これを基にして、NTTは、サービスの改善に取り組んでいる。

CS活動は、この「TOPICS」と、従来から活動している「オレンジ」を両輪に、地域活動への参画を図り、コミュニケーションを通じて、更に積極的に社会の発展に貢献する企業を目指すものである。

CUSTOMER

Satisfaction

九月中間決算は減収・減益

NTTが去る一月二〇日に発表した中間決算によると、上半期における営業収益は、前年同期比〇・〇五%減の二兆九、六三一億円となり、経常利益は、前年同期比二一・六

%減の一、〇五八億円、中間利益は、前年同期比三四・四%減の四五五億円となっている。NTTによれば、個人消費の冷え込みや企業の設備投資の抑制傾向など、景気の低迷が続いていること、それに電気通信分野のシェアの獲得を巡って、通話料金の値下げや新サービスの提供など、事業者間の競争が熾烈となり、NTTを取り巻く環境は一段と厳しいものになっているという。

このためNTTは、「テレジョーズ（通話料金の月極割引サービス）」の提供、最遠距離のダイヤル通話料金の大幅値下げを機に、全社的な営業努力を通じて、通話量シェアの確保に精力的に取り組むとともに、経費の厳しい抑制やより効率的な設備投資の実施など、徹底したコスト削減による経営の効率化を図っている。

社員のボランティア活動を支援

NTTでは、CS活動でも述べたように、「良き企業市民」を目指して、社会貢献活動を全社的に展開している。

昨年、この活動を一層推進し、社会貢献活動に対する社員の士気高揚を図るため、「社会貢献活動表彰」を設けた。

これは、企業理念の「地域と一体化」や、社会貢献活動の活動五原則の一つ「社員のボランティア活動の支援」の考え方に基づくもので、表彰の対象となるのは、「良き企業市民」として、社会貢献活動に継続的に取り組んだ功績があり、他の模範として推奨できる社員である。

去る一月二三日の電信電話記念日には、全国の支店・営業所から推薦された五六二件の中から、最終審査で五件（四氏一団体）が

選ばれ、第一回目の「社会貢献活動表彰」を受けたが、四国支社関係では、石鎚山を中心とした自然環境保護活動などが認められて、大野裕子（松山支店）さんが映えある表彰に輝いた。

お知らせ



税制改正に関する要望書の提出について

電友会本部は、去る九月二一日、自由民主党の政務調査会、税制調査会及び全国組織委員会に対し、「平成五年度税制改正に関する要望書」を提出しました。

同要望書の要旨は次の通りです。

一 年金受給者に対する公的年金等控除及び老年者に対する老年者控除の大幅引き上げを行って、税金を軽減して頂きたい。

二 老年者等の少額貯蓄非課税制度及び少額公債非課税制度の非課税限度額を、大幅に引き上げて頂きたい。

三 現役の人達が将来の生活に不安を感じることなく、その職務に精励することができ、また、次の各項の実現を図り、自助努力を育てるための支援、奨励をするようにして頂きたい。

(一) 個人年金の掛金については、課税所得からの控除額を大幅に引き上げる。

(二) 個人を対象とする退職貯蓄優遇制度を創設する。

(三) 勤労者財産形成の年金貯蓄及び住宅蓄貯の非課税限度額を大幅に引き上げる。

四 一般住宅の評価額を引き下げ、相続税の緩和をはかって頂きたい。

五 熟年者（六〇以上七〇まで）に対する医療費の軽減をはかる税制として頂きたい。

六 ねたきり老人、痴呆性老人を抱える家庭に対し、減税等の措置を講じて頂きたい。

七 国民健康保険税について軽減し、全国統一して頂きたい。

(年金受給者の多くは職場を離れ、国民健康保険に加入しております。国民健康保険税は加入者が居住する市町村によって、相当の差がありますので、国民健康保険税について軽減するとともに、その算出のありかたについて、全国的に統一して頂きたい)

八 老年者の受け取る生命保険等の満期保険金等の非課税限度額を大幅に引き上げて頂きたい。

公的年金一元化の動き等について

昭和五九年二月の閣議決定で、昭和七〇年(平成七年)を目途に、公的年金制度全体の一元化を完了させることになっており、再び年金制度改革の大きな波がやって来ます。

既に政府関係では、赤字が生じている一部の年金制度への一元化等の整備を推進する制度間調整懇(総理府)、平成六年の財政再計算に向けて六五才支給開始の問題を抱えている年金審議会(厚生省)、公的年金の財政に世代間扶養の考え方を取り入れ、去る九月に報告書をまとめた社会保障制度審議会(総理府)などに動きがあります。

また共済関係では、年金研究会の提言(中間報告書)、それに対する地方公務員共済組合協議会からの反論といった動きがでていますし、一方では、人事院が公務員制度としての退職年金制度のあり方を、継続的に検討しているとか、公的年金のこれからの動きには注目していく必要があります。

こうした中で本年度の電友会としての共

済年金受給者への処遇に関する陳情書の要旨は、次の通りです。

一 共済年金(恩給)の年次改訂は、現職公務員の給与改善率を基準として頂きたい。

(物価スライドにより改善されているが、生活実態を表していると考えられる公務員の給与改善率を基準として、共済年金水準の是正を図ること)

二 共済年金にかかる従前額について、物価上昇による減価分を救済して頂きたい。

(昭和六一年四月の新共済制度施行時に、共済年金額の裁定替えが行われた結果、従前額に達するまで引き上げが停止され、今後も長年にわたり、この適用を受けるものが多数存在する状況にある。これらの者の中に高齢者が多いこともあり、今後の生活維持を考慮し、その後の物価上昇による減価分に対する救済措置を講じること)

三 共済年金の職域年金部分を引き上げて頂きたい。

四 恩給扶助料、遺族共済年金の改善を図って頂きたい。

五 年金受給者に対する公的年金等控除及び老年者に対する老年者控除の大幅引き上げを行って、税金を軽減して頂きたい。

電友会の団体傷害保険について

平成五年度の募集が始まりました。

同封の振替用紙でお申し込みください。

補償金額は、保険成績による「優良割引」が加算されて、更にお得になっております。

なお、電友会の生命・傷害保険については、随時お申し込みを受け付けております。最高八〇才まで補償を受けられることになっておりますので、ご利用ください。(広告参照)

テルウェルだより

平成四年度NTTOBいよ大学修講

五七名に修了証書を授与

福祉センターでは、平成四年度の「NTTOBいよ大学」最終回(第六回)の教養講座を、一月二七日、松山市北持田町の愛媛県生活文化センターにおいて開催しました。

当日は六三名が参加、講師として元松山大学経営学部教授の木村悠先生を迎え、「人間尊重の旗手」と題して講演が行なわれましたが、社会生活、家庭生活の中での人間関係の大切さ、又その基本は人間尊重にあるということ、茶筒缶(角度を変えて見た場合、丸と四角が仲良く共存し、又それが一つの立体を形成している)を用いてのユニークな講話で、受講者に深い感銘を与えました。

講演会のは閉講式、近藤福祉センター所長から、テルウェルの主な社会福祉事業の動きについての説明を聞き、「来年度もこのいよ大学で、お元気な皆さんと再開できることを楽しみにしています」と挨拶を受け、続いていよ大学六コースの内、五コース以上を受講された方、五七名を代表して尾崎リウさんに、近藤所長から修了証書と記念品が手渡されて、盛会のうちに修講しました。

高知県社会福祉大会において

テルウェル高知営業所に感謝状

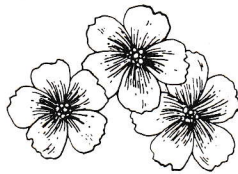
一〇月三〇日、高知県民文化センターで、高知県内の福祉関係者およそ千五百名が参加して、第四三回高知県社会福祉大会が開催され、テルウェル高知営業所は、藤本精三大会会長から、社会福祉事業に貢献のあった団体

として感謝状を頂きました。

これは、去る二月一日、テルウェルの社会福祉助成事業の一貫として、同営業所から高知市障害者福祉センターへ、電動車椅子を寄贈したことによるものです。

当日は梶田ケースワーカーが出席し、感謝状を受けました。

表彰式の後、元厚生局社会局長の長尾立子女史から「新しい福祉をめざして」と題して講演が行われ、最後に大会スローガンを参加者全員で確認して閉会しました。



テルウェルの「家庭介護者教室」好評

老人と心の通い合う介護を

福祉センターでは、ねたきり老人等の基本的な介護知識や実技を修得するための「家庭介護者教室」を、平成元年に松山市で試行して以来、毎年四県庁所在地で、日赤各県支部等のご協力を得て開催しています。

本年度も支部、営業所所在地で開催して好評を得ており、現在までに延べ三百六十九の方に受講して頂きました。

特に受講者の多い地域については、年度内の開催を考えております。引き続きご利用下

さいますようご案内申し上げます。

育英学生の募集

テルウェルでは学校教育法に定める高校、大学等に在学、又は進学を希望するご子弟を抱え、学資の負担が困難な方を対象に、本年も育英学生の募集を行なっています。

お申し込み、お問い合わせは、テルウェル四国支部福祉センターへお願いします。
電話 ○八九九—三二—九九五五番

敬 弔

次の方々が逝去されました。謹んで哀悼の意を表しご冥福をお祈りいたします。

氏 名	死亡年月日	享年	所 属
島崎留吉様	4・6・23	八七	高知
栗本計太郎様	4・10・8	九五	徳島
細川幸子様	4・10・10	七五	琴平
鎌田克夫様	4・10・12	六九	高松
山下義明様	4・10・19	六八	高松
島田静男様	4・10・26	六八	高松
一圓淑子様	4・10・29	六四	赤岡
久米清様	4・10・31	七八	徳島
土居学様	4・11・20	六二	宇和島
藪内喜代治様	4・12・6	八六	徳島

俳 句



雲あれて梅鉢草は嶺の花
嶺々晴れて梅鉢草に人の影
鯖雲やあの稜線が阿土境
竜胆の咲いてせばまる獣道

大西 瓶子

井上ひろし

菊供う長みまかりて三〇年

風よけて笹の根元やみこし草

笹がくれ竜胆濃ゆし尾根の道

風いたみして満天星の照紅葉

雲流れ四国山脈秋の風

おおばこの実のはじけとぶ山の道

溪近く稲架がっちり棚田かな

山ひだに家並の見えし過疎の秋

放牧に馬柵に影曳く萩の風

風白く葉裏を返す葛の風

殉職碑菊ひとかえ捧げけり

殉職碑そばに小さく濃竜胆

呆け芒吹かれて止まらず峯の風

連山の尾根に動かぬ秋の雲

連山の秀に秋天の雲の層

稜線に道幾條や秋高し

散歩道男よもぎと野こんぎく

南海を東進の台風波立たせ

神泉に樹影沈めて秋高し

風そよぐ梅鉢草の露重し

霊峰の尾根越えてきし秋の風

りんどうのゆれいる尾根の塔白し

夏すぎて人影もなしキャンプ場

去る一〇月一六日、「やまもも句会」は、

井上先生主宰の「さざなみ句会」と合同で、

標高千四百米の梶ヶ森に吟行しました。

好天に恵まれ、山頂は風も少なく紅葉に包

まれており、心豊かな一時を過ごすことがで

きました。

また山頂では、有沢氏と竹中氏の殉職碑に

献花、風化しつつある昔を偲んで頭を垂れ、

大西先生と井上先生から当時の思い出をお聞

きました。

(池内記)

お詫言と訂正
会報第八〇号(4・10)6ページ2段目の長野律子(高松)は、長野律子(高松)の誤りでした。謹んでお詫言を申し上げ、訂正させていただきます。

NEWS

モスレム省名誉国民勲章を受章

昨年の二月二二日、桑原啓次氏（松山）は、日本アセアン学術連盟（東京）の役員として、社会道徳教育に貢献したことが評価され、フィリピン共和国大統領府モスレム省から名誉国民勲章を贈られました。全国の受章者は二六名、四国は桑原氏を入れて二名でした。

電信電話記念日の表彰

平成四年度の電信電話記念日に当たって、永年電気通信事業に協力された功績により、去る一〇月二三日、次の方々が四国支社長から表彰されました。

脇水 満様（八幡浜）
清水 健 市様（高松）
三好 利 雄様（高松）
幸田 廣 男様（徳島）



電友会ボランティア活動賞を受賞

電友会本部は、地域振興活動、社会福祉活動、文化活動、環境保護・環境美化活動等を通じて地域社会に貢献するとともに、そのことに自らの生き甲斐を見出して、地道に活躍している個人（一七名）と団体（七団体）の表彰を、去る一月二四日、京橋会館で行ないました。四国の受賞者は次の通りです。

長島 正 行様（徳島）

ボランティア N T T 高知 O B 会様

（代表者 近沢 美義様）

余 栄 （死亡順）

勲六等瑞宝章
故 石丸 史郎 （北条）
正七位勲六等瑞宝章
故 仙波 克之 （松山）
正七位勲六等瑞宝章
故 川合 美知子 （観音寺）
正七位勲六等瑞宝章
故 島田 静男 （高瀬）



私は今



◇ 綾 正 行（松山）

公社を五三年に、第二の職場を六三年に退職し、今日まで好き勝手なことをしてきました。しかし、中途半端なことばかりで、自慢できるものは一つもありません。

今年は家の都合で、香川県によく行きました。そのとき郷土史に触れる機会があり、古代史に関心を持つようになりました。磨きガラスでタイムトンネルの奥を覗いているようです。何時まで続くことやら！健康はまずまずで、病氣と仲良く付き合いつつながら暮らしています。

◇ 有 馬 スズ子（三本松）

足の丈夫なうちに、旅行やお寺参りに出かけたと思います、早めに退職しましたが、退職

と同時に娘夫婦と孫二人が帰って来て、同居するようになりました。

それで、幼稚園の送迎や参観と忙しい毎日が続き、アツという間に二年が過ぎてしまいました。

その孫も今年は小学生になり、少し自分の時間ができましたので、大正琴の音色に魅せられ、五月から習い始め、練習に精を出している今日この頃です。

小旅行にも二泊三日で、今年は二度行ってきました。

◇ 稲 垣 謙 二（高松）

第二の職場を退いて二年余りになります。

一〇年来の腰痛と膝の疾患のため、好きなゴルフも久しく中断し、今は室内型の趣味に明け暮れています。

俳画は習い始めて二年目、今年は近くの書道会に入会し、月々の作品の提出に追われています。また最近、NHKの講座で「拓本と表装」を受講中です。

まさに六〇の手習いで、新鮮な気分です。くもあり、趣味三昧に耽って退屈を知らない昨今です。

◇ 雲 財 定（徳島）

私が交通事故に遭ってから、はや一年余り経ちますが、二年程前から後遺症のため、好きなゴルフもドクターストップとなり、遂に一〇〇を切ることも中止しました。

今は毎日、趣味のサツキの手入れや水やりを精を出し、来年こそは美しい花を咲かせようと頑張っております。

また天気の日には、市内の水際公園や中洲公園を散歩し、川辺に係留されている色々な

型のヨットの美しさに魅せられ、自分も乗って大海原を走ってみたいと、叶わぬ夢を見ております。

◇ 近 藤 寿 一 (松山)

四国整備を退職して六年有余、月日の経つのは早過ぎると思う。

勤めていた頃と同じ時刻に起きて、早朝に散歩、途中で体操やクラブ振りをして体をほぐし、これぞリズムを保っている。

この頃、洋ラン、サツキ、カンノンチク等々の世話に熱が入ってきた。併せて近年は、読みたければじつくりと本も読めるし、思いついたことも書き留められる。これも楽しみの一つ。

おまけにプロ野球のカゲの監督(?)にも忙しい。

◇ 鈴 木 正 一 (高知)

皆さんお変わりございませんか、私も元気で株東電通で頑張っております。

当社の所在地南国市岡豊町は「まほろばの里」と呼ばれ、史跡が多い所で有名です。近くに、「土佐日記」を記した紀貫之が来任した国府跡や国分寺跡があり、古代は土佐の政治や文化の中心地として栄えたのです。

中世にはその国府跡を見下ろす岡豊山に、長宗我部氏が居城を築き、城跡には当時の土塁、濠、井戸などが現存し、その一郭には、県立歴史民俗資料館が出来て、土佐の歴史を知るには便利です。

機会がございましたら、是非お立ち寄りください。

◇ 竹 谷 政 夫 (高松)

思いもよらぬ病気になり、お先真っ暗な気持ちで手術を受け、それから三年半の歳月が過ぎました。

今は病気のことも忘れ、TE四国高松の手伝いをしながら、地区の衛生組合協議会、民生委員等々のお世話をさせていただいております。

今年の夏はハワイへの旅に出かけました。真珠湾では五〇年前を思い起こし、今自分がこの地に立っていることが、夢の様に感じられました。

今日生あることを有り難く思い、感謝の気持ちを忘れずに生きて行きたいと思っています。(合掌)

◇ 田 中 喜 美 栄 (土佐山田)

早いもので、退職してからもう一〇年が過ぎました。

現職中から、是非行きたいと思っていた四国八八カ所参りに、お蔭様で八回行き、西国三三観音、板東、秩父六七観音、近畿三六不動明王参りと、元氣でお参りを続けさせてもらっています。

ともすれば、不規則になりがちな日々の暮らしに、気持ちを引き締めつつ、これからは健康第一で、明るい毎日を過ごして行きたいと思っています。

◇ 弘 田 静 子 (土佐清水)

お仲間入りして、はや三年が過ぎました。頭を使わなくなることを恐れ、退職前から囲碁教室に通ったり、退職後は時間が全部自分のものになったことを生かして、「百聞は一見に如かず」との思いから、「ジョン万漂流一五〇年記念」市民ツアーでアメリカに行

き、これを機会にと英会話を始めてみました。孫の誕生で忙しくなり、三日坊主で中止しました。

今は自分の現役時代と重ね合わせながら、共働きの娘のお手伝いさんとして、土佐清水と高知の間を行ったり来たり、気楽な日々を過ごしています。

◇ 古 市 清 一 (高松)

退職して一五年目を迎えています。

その間、八年余り二度目の勤めやらアルバイトなどをしてきましたが、今は町内老人会の会計を担当しています。

健康維持のため、現役時代に始めたジョギングを、今年からウォーキングに変え、雨の日や特別の事情がない限り、毎日五キロばかり歩いています。また禁煙を続けて六年余りになります。そうした効果でしょうか、糖尿病の方も血糖値が二年ぐらい前から、一〇〇前後に落ちているので喜んでいきます。毎年のことながら、秋にはきのこ狩りや山歩きで楽しんでいます。

◇ 松 末 親 則 (松山)

退社して一三年になりました。

「身心共に健康で楽しい日々を」といった思いがあって、退社後は、早々と運転免許を取って行動範囲を広げ、誘われるままに趣味の会にも参加し、今では囲碁(四クラブ)、将棋(二クラブ)、詩吟、民謡、俳句のほか釣りに、日々の散歩と、降り降り曜日にかかわらず何かと楽しんでおります。

お蔭で、OBや地域の方々とお顔を合わせる機会にも恵まれております。
「一病や つつがなきこと 古稀の春」

あなたは、今加入している保険だけで満足していますか？

団 体 傷 害 保 険

商品内容

- (1) 保険契約者 ・ 電友会
- (2) 被保険者 ・ 電友会会員及びそのご家族に限ります。
(補償対象者) (加入年齢による制限はありません)
- (3) 補償内容 ・ 日常生活におけるあらゆるケガによる入・通院、死亡・後遺障害
に対し保険金が支払われます。
- (4) 保険期間 ・ 平成5年4月1日から1年間です。
- (5) 加入する際の審査 ・ ありません。
- (6) 補償金額・保険料及びご契約コース ・ 募集人数による「団体割引」の適用と1年間の保険成績による
「優良割引」の適用がございます。(25%の割引)
・ 平成4年度は「団体割引」のみの適用でしたが、平成5年度はこの2
つの割引適用により前年度に比較して補償金額がさらに高くなりました。

ご契約 コース名	保険加入者	保険金額（1口の補償金額）			年額保険料 (1口につき)	加入口数 の 限 度
		死亡・後遺障害	入院日額	通院日額		
夫 婦 コ ー ス	ご本人と その配偶者	2,672,000円	1日につき 2,400円	1日につき 1,600円	ご夫婦で 10,000円	4口まで
個 人 コ ー ス	記 名 された方	1,557,000円	1日につき 2,100円	1日につき 1,400円	お一人につき 5,000円	お一人 4口まで

- ◎ 夫婦コースの場合は、ご夫婦のそれぞれに上記の金額が補償されますので、別々に個人コースにご加入をされるよりはるかに有利です。
- (7) ご加入方法 ・ 同封の専用郵便振替用紙の裏面が加入申込書となっています。
表裏とも必要事項をご記入の上、保険料を添えて最寄の郵便局へ
ご提出ください。5月中旬に加入者証を送付いたします。
 - (8) ご加入締切日 ・ 平成5年2月末日（当日消印有効）

生 命 ・ 傷 害 セ ッ ト 保 険

商品の特長

- (1) 病気、ケガともに補償されます。
- (2) 保険期間は5年。満期時に100万円＋配当金をお支払いいたします。
- (3) 満70歳までの方が新規にご加入でき、最長80歳まで補償されます。
- (4) ご加入時に医師の審査は不要で、健康告知書に記入をいただくだけで済みます。
- (5) 随時募集をしております。

お問い合わせにつきましては
日比谷会「お客様御相談係」まで御連絡下さい。

フリーダイヤル **0120-118265** (無料)

*お問い合わせ頂きましたお客様には、「生命・傷害セット保険」資料をお届けしております。

*両保険とも、パンフレットご希望の方は各県事務局までご請求下さい。

*ご不明な点は事務局、テルウェル、安田火災の電友会保険係までお問い合わせ下さい。

- ・ 電友会事務局 0899-36-2023
- ・ テルウェル四国支部 0899-32-9977
- ・ 安国火災愛媛支店 0899-43-1299 (コレクトコール106ダイヤルでもお受けいたします)

随 想



——じいい私は生きている——

揚子江で

井上 政夫（松山）

昭和一九年、湖南作戦（南部粵漢打通作戦だったと思う）に参加するため北京を出発。津浦線（天津から浦口間）で南下した我が隊は、五月下旬頃、蕪湖碼頭より鉱石運搬船に分乗して、揚子江を遡行する。

制空権はまだ我にあるといえども敵襲に備え、船団は擬装し航程も寸刻みであった。

夢にまで見た長江は洪水を思わせる泥水、滔々たる流れは、雄大言語を絶する。

飲料水、薪の補給のため、途中、安慶に寄港する。船上生活に飽きていた兵隊達は、先を争って上陸し、井戸場（つるべ井戸で、平たい石が一つ二つ置いてある）に殺到した。

限られた時間内に、限られた水で身体を洗い洗濯をする。長い列ができてしまった。何時までも順番が回ってこない。六月の太陽がじりじりと照りつける。

何を思ったか、隊列を離れた一人が走り出し、素っ裸になって流れにザンブとばかり飛び込んだ。私もそれに続いた。

私は大洲出身、肱川の河童といわれるくらい泳ぎは達者で、素潜りは一分五六秒という記録を持っていた。

私の後にも何人か続いた。抜き手を切って泳ぎ、ぐんぐんと沖に出た。しばらくして、「火鑪がおるぞ。帰れ帰れ」の警告。振り返ると飛び込んだ位置からは、かなり流されて

いる。しまったと思っても後の祭である。火鑪の不安と刻限までに戻らねばと、無我夢中で岸まで泳ぎ着いた。

流れは岸を洗い、二米程の垂直の絶壁で草一本生えていない。手を伸ばして固そうな場所を掴んでも、しょせん体重を支えきれず、ガラガラと音をたてて崩れ落ち、その都度水中に吸い込まれる。それでも同じ動作を繰り返す。こうなることは、最初から分かっていたことだが……。

ここで死んでは戦死にならない。両親や職場の先輩、同僚に申し訳ない。「神様、仏様お助けください」とあがきもだえる。進退窮まって、最後に渾身の力をふりしぼり、「助けてくれー」と叫んだ。

もうだめだと諦めた瞬間、一本のロープが投げ込まれた。戦友が私を見守ってくれていたのである。

私は草場に寝かされていた。故郷の両親の顔が浮かんで消える。しばらくして目を開けると、心配そうな戦友達の顔が、覗き込んでいる。私はやっと正気に戻った。

隊長からは、大目玉を食らい、船団は定刻より三〇分遅れて出発した。

翌日、甲板から流れに目をやると、ザーツという波音と共に、黄褐色の流れが黒色に変わった。火鑪の大量であった。

四八年を経過した今でも、鮮明に脳裏に焼きついていて。私を助けてくれた戦友、井上正茂様（八幡浜市出身）は、復員後間もなく死亡した。

思えば初年兵として同じ内務班にいた時、隣のベッドに寝ていた、無口で真面目な好青年であった。

有り難う。私はまだ生きている。（合掌）

三浦恒礼子先生のこと

兼松 政人（観音寺）

小生はNTT退職後、地元の初心者講座で俳句の手ほどきを受けましたが、それがきっかけとなって、講師が所属する俳句結社の主宰三浦恒礼子（忠義）先生と、邂逅することになりました。

爾来一年余り、三浦先生の指導を受け、句誌に投稿するなど、句作にいそしんできましたが、平成二年一月、先生は思いがけなく急逝されました。

NTT在職中の先生は、学園普通部時代の教官としてお目にかかって以来、各種の要職に就かれた雲の上の存在で、仕事上で色々と接触場面もありましたが、ただただ威圧感を覚え、煙たい存在でしかありませんでした。しかし、俳句の世界に多少とも関わりを持つようになつて、先生の華麗な句歴と重厚な作品に触れ、まさに驚きの連続でした。

先生は皆吉爽雨門下の俊秀として、若いときからその名声が轟いていたのですが、部内者には、殆どその実像が見えていなかった恨みがあります。退職後先生は、香川県下を始め、各地で俳句の普及・指導に努められ、観音寺市でも多くの人が、教えを受けてきました。

それで七〇代、八〇代の年配者までが、敬慕の情を示されるのも、先生の人徳であろうと思っております。

今も多数の門下生が遺徳を偲んで、先生の語録をひもとき、結束を崩さないで俳句の格を守っています。

また当地近郊の第七〇番札所本山寺には、「恒礼子先生一周忌記念句碑」が建立されて

います。わが句友はそれを何時も清掃し、先生を慕い続けています。

この十一月一日は、三浦先生の三周忌です。門下生はこれからも黙々と、先生の句碑の清掃を続けることと思います。(合掌)

姫 街 道

猪谷 嘉夫(高松)

艶やかな街道名だが俗称である。江戸時代京都と江戸を結ぶ街道は、東海道と中山道で、東海道には箱根・新居(静岡県)に、中山道には碓氷(群馬県)と木曾福島(福島の四大関所があり、当時の旅人の難所であった。これら関所の監視は「入り鉄砲・出女」が主眼で、入り鉄砲は江戸に銃器が持込まれるのを、また出女は江戸に人質同然に留めおかれた、諸大名の奥方や息女が秘かに国元への脱出を防ぐことにおかれていた。

両街道とも地理的難所や厳しい関所に加え、追剥・胡麻の灰(護摩の灰を悪用した騙り者)や極道雲助の出没で旅人の苦難は並大抵でなく、女人は猶更のことであった。東海道の難所の一つに浜名湖の湖口である今切の渡し(舞阪から新居の間)は、天候による危険の他、海の雲助とも言うべき悪船頭が居る。この難所を揶揄する諺に「舞阪一里、船に乗るも馬鹿乗らぬも馬鹿」とある。船で渡れば近いが水上の危険があるし、陸路を行けば安全だが遠廻りなり、どちらもどっちの意。この渡しを出た所に新居の関所が控えており、正に前門の虎・後門の狼という有様である。

こうした難所を逃れるため、いつの頃からか浜名湖を迂回する脇街道―見付(磐田市)から浜名湖の東岸、北岸の三ヶ日を経て御油(豊川市)―を通る旅人が多くなり特に女人

が主にこの脇街道を利用するので、誰いうとなく姫街道と呼ばれるようになった。

星移り時変り、現在ではこの脇街道の大部分が国道三六二号となり御油で国道一号線に接続し、往時の姫達に代ってトラック野郎が頻繁に走っておる。

この沿線には史跡や名刹が多く、万葉集の歌の背景になっておる所もあるし、三ヶ日では旧石器時代の化石人骨が発見され、三ヶ日原人と命名されておる。国道から外れた山間などの旧街道は放置されていたが、最近地元町村が村おこしの一環として、これを整備復元して、史跡探訪者やハイカーの来訪を歓迎しておるようである。

二つのOB会から

高井 弘二(観音寺)

今秋、二つのOB会が開かれた。

九月二十六日、徳島市内での四国通信講習所七期生の同期会と、十一月一日、観音寺市内での第二回三豊会で、私も出席した。

前者は四国各県から三四名が参加。東京から稲見保先生(前共済会会長)も駆けつけてくれた。後者はOB八〇名、現役一〇〇名、いずれも観音寺、豊浜、高瀬の各事業所に勤めた(勤める)人達である。

さて、二つのOB会に参加した感想を一口で言えは、「益々意気盛ん」ということか。昔は恩給生活は平均一〇年以内だったそうだが、ここにも人生八〇年時代があった。

アルコールのせいもあって、会話が弾み、談笑の渦が巻き起こるが、しかし、目の前の食べきれない料理を見ると、ひもじかった少年時代のことを、フト思い出す。

戦時中はイモの茎までゆでて食べ、通講の

寮生活では、来る日も来る日も南瓜ばかり。たまに出る白ごはんと大根の葉漬の、なんとおいしかったことよ。

「飽食の時代」といわれて、既に久しい。平和で、豊かな食生活が、果して孫やその孫の時代まで続くものだろうか。

盛り上がった会場の熱気に包まれながら、私の脳裏に、一瞬、不安がよぎった。

表紙の言葉

西

莊野 丹秀(内海)

平成五年酉年、鶏が朝の時を告げるのは、気持ちがい。正月の元旦の朝の鶏の声は、また一段とすばらしい。

健康な一歩で初春を踏みしめよう。

題 字

長谷川幽斎(茂)氏にお願いしています。

投 稿 規 定

一 会員消息 四〇〇字以内

二 短歌、俳句、川柳 五首又は五句以内
三 随筆、随想 六〇〇字以内

原稿締切 二月二〇日

● 字数はなるべくお守りください。

● 原稿の取扱いについてはお任せ願います。

電友会四国地方本部会報 第八一号

平成五年一月一日発行

編集発行 電友会四国地方本部

事務局

松山市一番町四三(〒七九〇)

NTT四国支社内

電話(〇八九九)三六二二〇二三
印刷 四国電話印刷株式会社



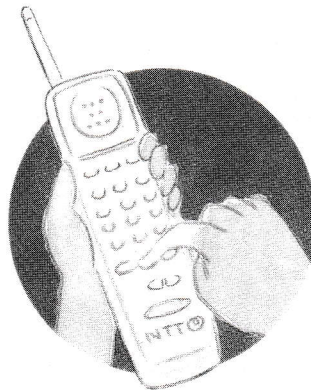
キャッチホンなら もう「お話し中」をつくらない！



ご家族のだれかが長電話中！いつまでたってもつながらない……そんなイライラを解消するのが、キャッチホン。お話し中にかかってきた電話もワンタッチでうけることができます。

- だれもができるカンタン操作！
- 現在ご使用の電話機でOK！
- お客様宅へ同工事はありません！
- 工事費は無料！

操作は簡単フックボタンを押すだけ！



キャッチホン 月額ご利用料金300円

※一部ご利用いただけない地域がございます。

キャッチホンの
セット割引

おトクなセット割引

キャッチホン+プッシュ回線
(300円) (390円)

690円⇒640円

お申し込み、お問い合わせは
局番なしの116番へ

NTT